

【テックジム】Python コースへようこそ（テキストの使い方）

テックジムの各課題（小問題）には、サンプルソースが用意されています。

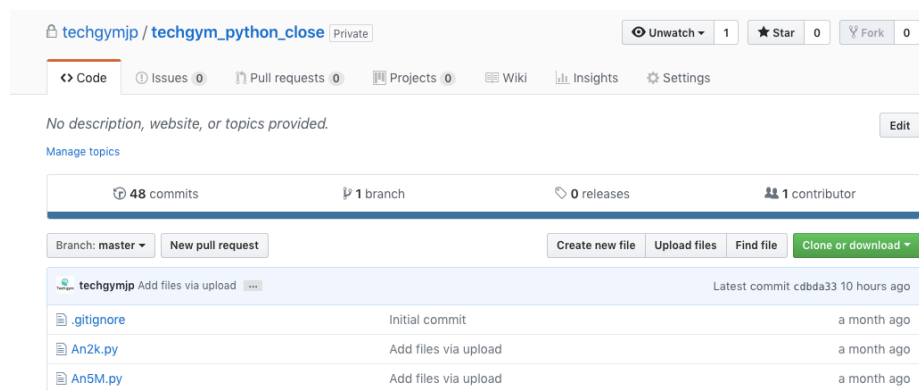
■ 1-1：パーがないじゃんけんにパーを追加：[y5YT.py](#)

まずはサンプルソースをエディタにコピーして、そこでコーディングをし、実行環境で「ビルド（実行）」して、意図通りにプログラムが動いているかを確認するという流れで実習していただきます。

※エディタは <https://code.visualstudio.com/> をオススメしております。

【サンプルソースの公開場所】 https://github.com/techgymjp/techgym_python

※ローカル環境の画面検索（コマンド+F など）でサンプルソースを探してみてください。



【プログラム実行環境】 <https://colab.research.google.com/>

左上の「+コード」をクリックすると実行ウィンドウが開きます。
実行ウィンドウの左上の再生ボタンをクリックすると下方に実行結果が表示されます。



【課題の進め方】

必ず自分なりに何かしらコーディングして実行するというトライ＆エラーをしてみてください。
そのためにヒントがあります。また、自分でネットで調べる力も大事なスキル習得です。
最初のうちは自力で解けないことばかりなので、ある程度頑張ってみたら、答えを先に見るのも手です。
ポイントは手が動かなくなったタイミングで、ググるか、トレーナーに質問してみてください。

【効率的に進めるにあたって】

問題の意図にないような余計なコーディングはしないことです。それにより躓くことは時間の浪費につながります。また、解答通りにコーディングをしなくてはならない訳ではありません。要求仕様を満たせば、その時点ではとりあえずは OK です。

【先に答えを見たい方は】

次の課題のサンプルソースが模範解答になります。

コードが読めることもスキル上達の 1 つのステップですので、模範解答を見ることは全然悪いことではありませんが、きちんと 1 行ごとに理解するようにしましょう。

【サブテキストについて】

課題にはサブテキストがついている時があります。

課題ができた方はサブテキストをやる必要はありませんが、解答を見ても意味がわからなかったという方はサブテキストも解いてみてください。

【効果的な復習のやり方】

1 章（大課題）ごとに「通し」で 5 回はやってみましょう。

その際に、トライした日付、その課題でトライした時間、解答までにこぎつけたかどうか（○・×）を毎回記入して、前回との差異を見て、理解が進んでいるか、スピードが上がっているかをチェックします。

章の途中で放置して時間が経っている場合は最初からやり直すことをオススメします。

毎回ミスしやすいところは、次回にヒントになることをメモっておくことも理解を深めます。

【次の章に行くタイミングは？】

全ての課題が答えを見ずにできた方は次の章に進んでみてください。

先に進むことで理解することもありますので、とりあえず全問正解を自力で解ければとりあえず OK とします。最終的にはヒントを見なくても解けるようになるのが理想ですが、そこまで完璧主義にならなくても OK です。

【一歩先の学習の楽しみ方】

テックジムのサンプルソースは、コードの 1 行 1 行に創意工夫がなされています。

また、各工程のコーディングの進め方は一流シェフのレシピさながらの、スーパーエンジニアの技法が隠されています。

エレガントなソースコードを書くことに楽しみを見出したり、出題側の引っ掛けとの駆け引きを楽しんでみましょう。